



当社の本社工場

○本社所在地：埼玉県熊谷市代531番地

○事業概要：電子機器開発・設計、製造

エンジニアプラスチック加工

電気電子材料加工

ワイヤーハーネス

農業ソリューション

○常時使用する従業員：150名

(2025年6月時点)

○現在の売上高：42億円

(2024年12月期)

○法人番号：2030001088427

○Web：<https://yumex-jp.com>

# ユメックス株式会社（製造業）

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役社長  
小久保 孝志

創業の精神である誠実と信頼をモットーにお客様にとって  
『なくてはならない会社』を目指す。

当社は、信頼されるモノづくりを原点とし、電子機器メーカーとして着実な成長を遂げてきました。今後は、これまで培ってきたモノづくり基盤をさらに強化して『売上高100億円』企業への成長を目指します。この挑戦は、4つの事業を中心として「社会課題の解決に貢献すること」を目的としています。お客様に選ばれ続ける「なくてはならない会社」として、永続的な会社の成長発展とすべての社員の幸せを実現することが当社の目的です。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

更なる成長が見込める半導体関連向け「電子機器事業」と新規事業である「農業ソリューション事業」を成長加速エンジンとして、既存事業含め4つの中核事業で2032年12月期に売上高100億円の達成を目指します。

### 課題

- ・現在の各工場エリア、保有設備での生産能力の限界
- ・工場の分散化による生産非効率の解消
- ・事業の成長に伴う人材採用と育成、次世代リーダーの育成
- ・DX、AIを活用した業務の効率化
- ・自社開発製品（YUMEXブランド）の市場浸透と販路拡大

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ◆新工場を建設し、分散している工場を集約する。
  - ・各部門生産エリア拡大、生産設備増強で生産能力大幅増大
  - ・農業ソリューションの開発製品展示室、栽培実証室設置
- ◆フィリピン工場の拡張、F4工場建設
  - ・半導体製造装置向けワイヤーハーネスの生産能力増強
- ◆採用活動強化、新卒含め若手技術者の採用と育成
- ◆営業体制を強化し販売チャネルの拡大、新規顧客開拓
- ◆DX、AI活用による業務効率の推進

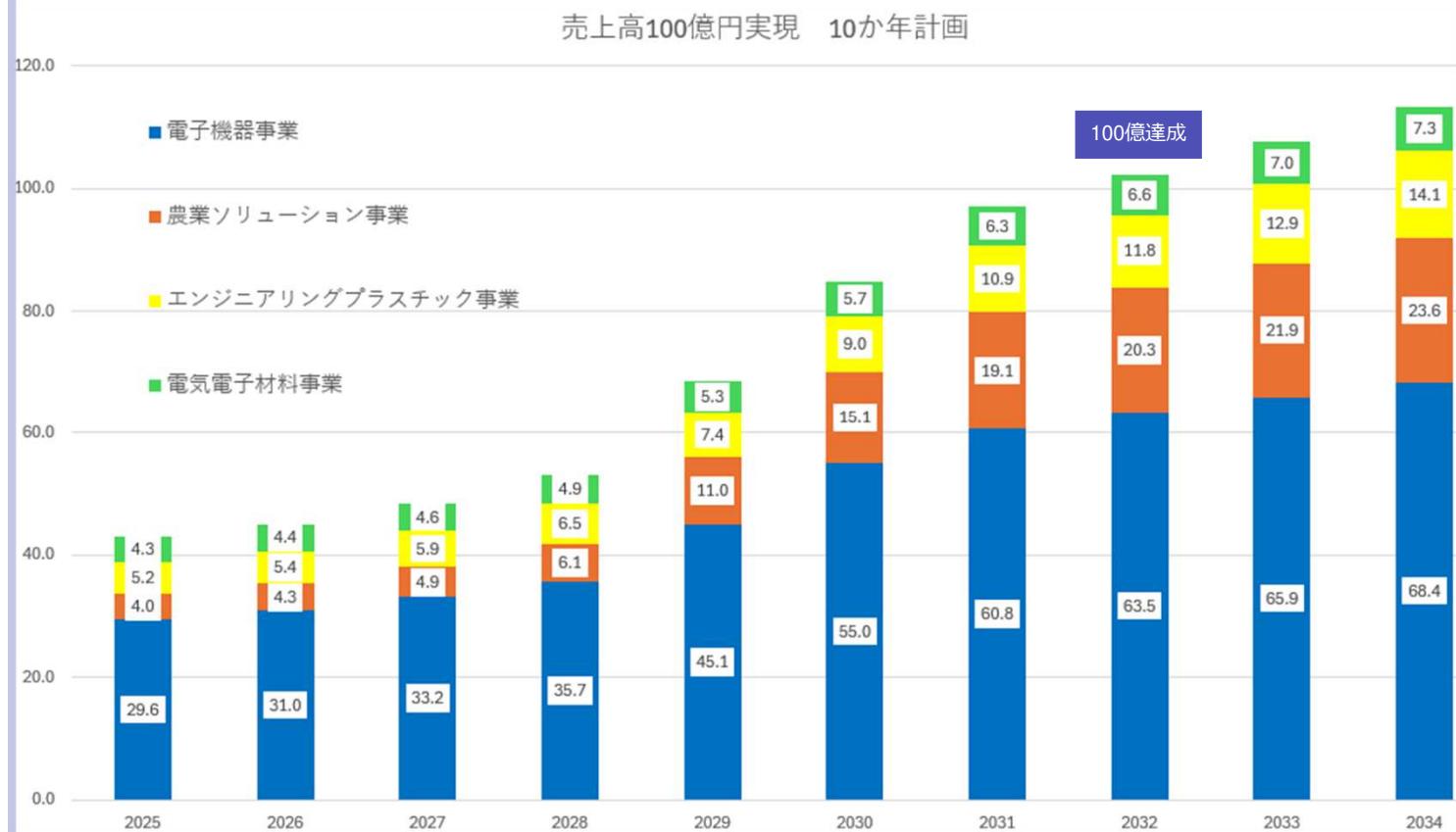
### 実施体制

- ◆中期経営計画に100億円達成までのロードマップを明確化し、経営層から現場まで全社員が共通認識を持って取り組む体制構築
- ◆年度計画に具体的目標・戦略・行動計画を落とし込み、月次検討会で進捗を管理し、PDCAを徹底
- ◆新工場建設プロジェクトを立ち上げ、早期稼働を実現
- ◆組織体制の若返りと権限委譲を進め、強固な新体制を構築
- ◆代理店、取扱店の拡大により販売網を強化

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現に向けたロードマップ

目標：更なる成長が見込める半導体関連向け「電子機器事業」と新規の「農業ソリューション事業」を成長加速エンジンとし、既存事業含め「4つの中核事業」で2032年に売上高100億円を目指す



## 成長戦略と具体的施策

## 【全体戦略】

- ◆新工場建設により生産能力・生産性を大幅に向上し、事業拡大に対応できる体制を構築
- ◆各事業の強みを生かした成長戦略を推進し、4つの中核事業で100億円達成を目指す

## (具体的施策)

- ◆2026年工場用地取得、新工場建築（分散工場の集約）
- ◆各事業部門の生産エリアを大幅に拡張し、最新鋭の設備導入

## 【電子機器事業】

- ◆主力の半導体設備メーカーの成長戦略に合わせ、独自のビジネスモデルで競合他社との差別化を図り、当社シェアを拡大
- ◆新工場の生産エリア拡大により、大型のユニット製品の開発から設計・生産を可能とし、新規顧客の獲得を促進

## (具体的施策)

- ◆フィリピン工場にF4（工場）を増設し、生産能力を大幅に増強
- ◆M&Aで取得した那須工場のテコ入れ（人材、設備増強）
- ◆BCPの観点からフィリピン工場と国内工場の生産連携強化

## 【農業ソリューション事業】

- ◆実績豊富な植物工場用LEDを毎年プラスアップし、日本市場シェアNO1を確立し、LED売上高10億円を実現
- ◆独自開発の「YUMEハウス」「YUMEBOX」を2026年から本格的販売し、国内外での市場拡大を図る。

## (具体的施策) \* 完全閉鎖型人口光栽培・育苗システム

- ◆新工場に自社開発製品展示室及び実証試験室を設置し、顧客が栽培状況を見学できる環境を整備し、販売促進につなげる
- ◆農業week幕張への毎年出展により認知度向上と販路拡大
- ◆海外顧客の獲得と輸出販売の拡大を推進